

# 退職者連絡会

第67号  
(発行・編集)  
JR九州労組  
退職者連絡会  
鹿児島地区本部

## 「さんたんぞの輝男」氏 激戦を制し、連続9期目の当選

鹿児島市議会議員選挙は、四月十四日投票が行われ、JR九州労組推薦の「さんたんぞの輝男」候補（前市議会副議長）が連続9期目の激戦を制し、見事5位の上位当選（4691票を果たしました。今回の選挙戦は、定数四五人に六一人が立候補。選挙戦も現職、新人、元職による少数激戦の闘いとなりました。



六〇万京都の将来や地域の街づくりをはじめ、子育て世帯の支援、高齢者の介護福祉の支援策、防災対策、人口減問題等々への取り組みが問われる闘いでした。新型コロナウイルスが5類に移行され、

四年前の自粛ムードから一変、従来の選挙戦となりました。しかし、投票率は今回四〇・七〇%で、過去最低だった前回の二〇二〇年を三・三八ポイント上回り微増となったものの、過去2番目の低投票

率となりました。出身母体の電力総連を中心として、県連合の割当単組、とりわけJR九州労組も現職・退職者が一致協力し、退職者連

絡会役員による会員宅回り、現職組合員による電話点検・拡大行動、JRグループ労組対策等により、終盤の盛り上がりで必勝の手ごたえを確信していました。特に、三反園輝男候補の地域での日常的な活動は高く評価されており、出陣式の地元代表挨拶や聴衆者を見ても際立っていました。

今後四年間、新たなスタートを切ることにありますが、候補スローガンでもある『共に創ろう、ふるさと鹿児島』を踏まえ、障がい者雇用・就労の促進など共生できる社会、自立できる子育て世帯の支援と高齢者支援策の充実・向上などの福祉づくり、若者の雇用対策、エネルギー問題など市政の課題解決に向けて、今日までの豊富な経験

### 横山誠氏が初優勝 第39回親睦ゴルフ大会

を生かし、市民目線での政策の提案を頂けるものとおいに期待したいと思えます。

四月二四日第三九回ゴルフ大会を蒲生カントリークラブで（鹿児島県始良市）で開催しました。当日は新緑の薫る春の心地よい風に恵まれ、出水、吉松、始良、鹿児島市街各地と、本部から高田義廣会長を招き、三六名が参加しました。草留和徳事務局長の司会で始まり、ま

ず冒頭挨拶に立った。堅山正明会長は「四月十四日の鹿児島市議選でJR九州労組・退連会推薦候補「さんたんぞの輝男」候補が見事九期目の上位当選を果たすことができました。選挙戦での会員・ご家族

### 編集後記

衆院3補欠選挙で自民党は、東京15区の不戦敗と長崎3区含めて3戦全敗となった。派閥、ハテイヤ裏金事件で国民からレッドカードを突き付けられ、もはや政治の世界から退場させられる一歩手前である。